

# 令和4年度入学生用カリキュラムマップ

【日本語文化学科】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
22JIPA1001	初期演習Ⅰ	1	本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。このため、本学の「立学の精神」「教育目標」を知り、本学学生としての誇りと自覚を持つ。さらに、主体性・論理性・実行力を培い、女性として有為な社会人となるために、それぞれの学部学科の専門性に基づく知識と社会人基礎力の修得の必要性を理解し、各自のキャリアデザインを自ら構築する。	短大の修学の基礎となる単位制を理解し、適切な履修計画に沿って修学する主体性、考える力を身につけ、所属学科の3つのポリシーに基づく専門教育の概要を把握し、自らのキャリアデザインを組み立てる力を身につける。また、良識ある社会人となるための社会人基礎力の必要性を理解し、その基盤となる十分なコミュニケーション能力を培い、基本的な社会ルールを理解し、本学学生としての誇りと自覚を身につける。さらに、学習・研究を進める上での倫理の基礎となる情報の取り扱いに関する知識を身につける。							○	◎	◎
22JIPA1002	初期演習Ⅱ（日本語文化）	1	大学教育の導入として、高校までの教育と大学教育の違いを理解し、自主的に学び新たな発見を導き出す力を涵養することを目的とする。本学院の教育理念に基づき、大学生にふさわしい主体性・論理性・実行力を培う。専門的な学習に必要な基礎的知識および社会人基礎力を身につけることを目指す。	1. 日本語文化学科の教育目標を理解し、専門的な学習を進めるにあたって必要となる基礎的知識・技能を身につけ、また研究的態度を養う。 2. 自ら課題を設定し、その解決のために必要な情報を的確に収集し、論理的に思考して、解決へと導く技能・姿勢を身につける。 3. 学生相互や教員との豊かで円滑なコミュニケーション能力を身につける。 4. 有為な人材として社会で活躍するためのキャリア意識を形成する。							○	◎	◎
22JIPA1401	日本語ライティングⅠ	1	レポート・卒業論文・就職試験等において必要となる文章作成能力を身につける。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	様々な状況に最もふさわしい文章を作成できる技術と能力を身につけている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○		◎						
22JIPA1402	日本語ライティングⅡ	1	Ⅰを踏まえてさらに、レポート・卒業論文・就職試験等において必要となる文章作成能力を身につける。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	様々な状況に最もふさわしい文章を作成できる技術と能力を身につけている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○		◎						
22JIPA1411	情報リテラシーⅠ	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。	・本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 ・基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識をもち、場面に応じて安全にコンピュータやネットワークを活用することができる。 ・レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。		○		◎					
22JIPA1412	情報リテラシーⅡ	1	MS-Excelを発展的に取り扱うことにより、データ処理の知識と技能を習得する。「情報リテラシーⅠ」では十分に行えなかった、MS-Excel/Wordを連携的に取り扱うことにより、専門教育課程の課題やレポート作成とビジネス現場で適用できるデータ処理の基本的技能を習得する。	専門教育で取り扱う各種データをMS-Excelで処理し、レポート作成や卒業論文に役立つレベルを目標とする。		○		◎					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	
22JJPA1421	英語会話Ⅰ	1	聴く・読む・書く技能を使いながら英語による発話能力を高めることを目的とする。	英語の基本的な文法事項などを活用しながら、コミュニケーション活動を通して基本的な会話が英語でできる。		○		◎					
22JJPA1422	英語会話Ⅱ	1	聴く・読む・書く技能を使いながら英語による発話能力を高めることを目的とする。	「英語会話Ⅰ」で身につけた基本的会話表現・スキルを応用し、様々な状況で英語による意思伝達ができる。		○		◎					
22JJPA1101	日本語学入門Ⅰ	1	日本語学を学習・研究するのに必要な基礎的知識を習得し、日本語に対する様々な観点を学ぶ。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語学および関連領域の学習・研究に必要な学究的な態度を身につけている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
22JJPA1102	日本語学入門Ⅱ	1	日本語学を学習・研究するのに必要な基礎的知識を習得し、日本語に対する様々な観点を学ぶ。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語学および関連領域の学習・研究に必要な学究的な心的態度を身につけている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
22JJPA1201	日本文学入門Ⅰ	1	日本古典文学を学習・研究するのに必要な知識を習得し、日本文学に対する様々な観点を学ぶ。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本古典文学について、大学での学習・研究に必要な視点を獲得している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
22JJPA1202	日本文学入門Ⅱ	1	日本近代文学を学習・研究するのに必要な知識を習得し、日本文学に対する様々な観点を学ぶ。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本近代文学について、大学での学習・研究に必要な視点を獲得している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
22JJPA2101	日本語の歴史	2	日本語の歴史的変遷について、各時代の日本語資料に見える言語事実に基づいて考察し、日本語研究に必要な知識を身につける。	日本語の変遷を時系列に沿って把握している。	○				◎				
22JJPA1103	日本語の現在	1	普段意識することなく使っている日本語の表現（文字・表記・文章・文体・言語変化・言語運用等）について学び、その多様性を客観的に把握する力を養う。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を習得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日常生活における日本語の表現に関する諸側面を観察し記述する、一定の技能を獲得している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
22JJPA2102	共通語と方言	2	日本語の共通語と各地の方言について、地域的・歴史的・文化的な諸側面から考察する。	共通語と方言について一定の知識を得、日本語の多様性について認識している。	○				◎				
22JJPA2103	世界の中の日本語	2	世界の様々な言語と比較して日本語がどのような特徴を持ち、どのような位置にあるのかを知る。	日本語が世界の多様な諸言語のうちの一つであるという認識を持っている。	○				◎				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2			
22JIPA1104	日本語のしくみ	1	日常的に使われている日本語を、語彙・文法等の側面から観察し、これらの背後にあることばの規則性・体系性を見抜く力を養う。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を習得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語の持つ規則性・体系性を認識し、各自の関心事として問題を分析する視点を持っている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○					
22JIPA2204	ことばと美意識	2	日本文学・文化の伝統を踏まえ、日本語における美意識について考える。	日本語における美意識についての一定の知識と理解を得ている。	○					◎					
22JIPA2201	近現代文学を読むⅠ	2	近現代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈することができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○					◎					
22JIPA2202	近現代文学を読むⅡ	2	Ⅰを踏まえてさらに、近現代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈することができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○					◎					
22JIPA1203	古典文学を読むⅠ	1	日本古典文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈することができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○					◎					
22JIPA2203	古典文学を読むⅡ	2	Ⅰを踏まえてさらに、古典文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈することができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○					◎					
22JIPA1204	児童文学を読む	1	児童文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈することができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○					
22JIPA1211	漢文学を読む	1	漢文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈することができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○					
22JIPA2301	日本の伝統文化Ⅰ	2	日本の多様な伝統文化について学び、現代の生活様式への影響等について考える。	日本の多様な伝統文化についての一定の知識と理解を得ている。		◎					○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	
22JJPA2302	日本の伝統文化Ⅱ	2	日本の多様な伝統文化について学び、現代の生活様式への影響等について考える。	日本の多様な伝統文化についての一定の知識と理解を得ている。		◎					○		
22JJPA2303	現代の日本文化	2	現代日本の文化について様々な視点から学び、文化の多面性について理解する。	現代日本の多様な文化についての一定の知識と理解を得ている。		◎					○		
22JJPA1311	書道Ⅰ	1	書道史上の古典を、筆者・時代・表現の特質などの点から学ぶとともに、表現力の向上をはかる。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	古典の特質を理解し、臨書ができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		○		◎					
22JJPA1312	書道Ⅱ	1	Ⅰを踏まえてさらに、書道史上の古典を、筆者・時代・表現の特質などの点から学ぶとともに、表現力の向上をはかる。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	古典の特質を理解し、臨書ができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		○		◎					
22JJPA2311	書道Ⅲ	2	書道史上の古典を理論的に考察し、臨書と鑑賞を行う。	一層幅広く高度な表現方法を理解し、そのための技術を習得している。		○		◎					
22JJPA2312	書の美の世界	2	構築的表現や流動美を中心として、書の美の多様性に関する理解を深める。	書の美の多様性を十分に理解している。				◎			○		
22JJPA2421	英語で学ぶ日本文化	2	日本文化に関する英語の文章を読み、英文読解力を養うとともに、国際的な視野から日本を捉え直す。	一定程度の英文の読解力を身につけ、日本文化を国際的・相対的に捉えることができる。		○		◎					
22JJPA1403	身体表現入門	1	演劇・ダンスなどパフォーマンスの実践を通して、言葉だけに頼らないコミュニケーションの技術を身につける。	言葉だけでなく身体による表現力も発揮して、自分をアピールすることができる。				◎			○	○	
22JJPA1423	海外文化体験演習	1	海外体験を通して、日本語・日本文化に対する客観的な評価ができるような基礎的な力を身につける。	多文化共生を理解し、日本語・日本文化に対する客観的な評価の視点を身につけている。		◎					○	○	
22JJPA1404	美しい話し方	1	聞く人に好感を持たれる明快な口頭表現の方法を身につける。また本科目は、中学校教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	美しく明快な日本語を話すための技能を身につけ、具体的な状況で形に表すことができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。				◎			○	○	
22JJPA1405	社会人の敬語	1	就職活動期および就職後に必要となる敬語の正しい使い方を身につける。	ビジネスの場面で時と場合に応じた適切な敬語を使うことができる。				◎			○	○	
22JJPA2411	情報検索基礎	2	情報の利用者の立場と、利用者支援のスペシャリストの立場の両面から、情報検索の理論や技法の基礎を学ぶ。情報検索に関する基礎的な資格（情報検索基礎能力試験等）の取得に有用な知識を身につける。	情報検索の基礎的資格取得に有用な知識を習得している。また、日本語・日本文化に関するレポート作成に活用できる情報検索の技能を身につけている。		○		◎					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
22JJPA2412	情報デザイン	2	文字・音声・画像・映像等のデジタルデータを使った成果物を作るのに必要な基礎的スキルを身につける。デジタルデータを扱う際に必要な基礎知識も習得する。	デジタルデータに関する基礎知識を習得し、それら进行处理するのに必要なソフトウェアを使いこなすことができる。		○		◎					
22JJPA1406	プレゼンテーション入門	1	フォーマルな場面で効果的な提案・説明・発表をするために必要な技能を身につける。	実践的なプレゼンテーションの技能を習得している。			◎				○	○	
22JJPA2401	オフィス・マナー	2	就職活動期および就職後に必要となるオフィスマナーを身につける。	ビジネスの場面で時と場合に応じて適切にふるまうことができる。			◎				○	○	
22JJPA2001	卒業演習	2	担当教員の指導の下、各自の研究を深めるための方法論を学ぶとともに、学生同士が発表・討論等を行い、互いの学びの質を高め合う。	卒業に値する基本的な知識と技能を身につけ、研究レポートをまとめることができる。					○	◎	○	○	